

作品名 『霧の中の蒸気機関車』

「佐呂間のアピールポイント」と「シャッターを切るに至った思い」

佐呂間町は人口が少なく、大きな街のような賑わいはありませんが、町を歩くと静かな自然の音や子どもたちの楽しそうな声、近所の方とお話ししている声などが聞こえてきます。小さな町だからこそ、人と人との繋がりが強いところが魅力だと思います。

また、佐呂間湖をはじめとし、山、川など自然豊かな佐呂間町は、季節によって虫や植物が姿を変え、視覚、聴覚など体全体で自然を感じることができます。街灯が少ない代わりに、空一面に広がる星を見ることができるところも、とても魅力だと思います。建物が低く、少ないからこそ広がる佐呂間町の景色を大切にしていきたいです。

そして、私は佐呂間町の食べ物が大好きです。かぼちゃなどの農作物、ほたてなどの海産物、他にもお肉など、おいしい物がたくさんあり、これこそがこの町の1番の魅力だと思います。

最後に、この写真を撮った理由は、昔使われていた蒸気機関車が、今では子どもたちの集まる場になっているなど、佐呂間町の昔と今を繋ぐ大切な物だと思ったからです。私は、この機関車が使われている様子をあまり想像できませんが、機関車を通じ、母から昔の佐呂間町について聞くことができました。今でも大切に管理されているこの機関車が、これからもこの町と歴史と共に語り継がれていってほしいと思いました。

